

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成29年6月26日（月）～平成29年7月2日（日）〔平成29年第26週〕の感染症発生状況

第26週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 流行性角結膜炎でした。

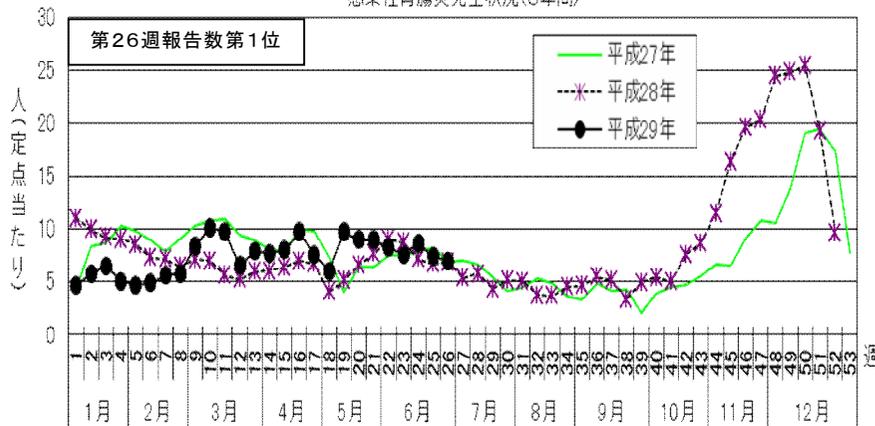
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.94人と前週（7.39人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は4.61人と前週（4.58人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

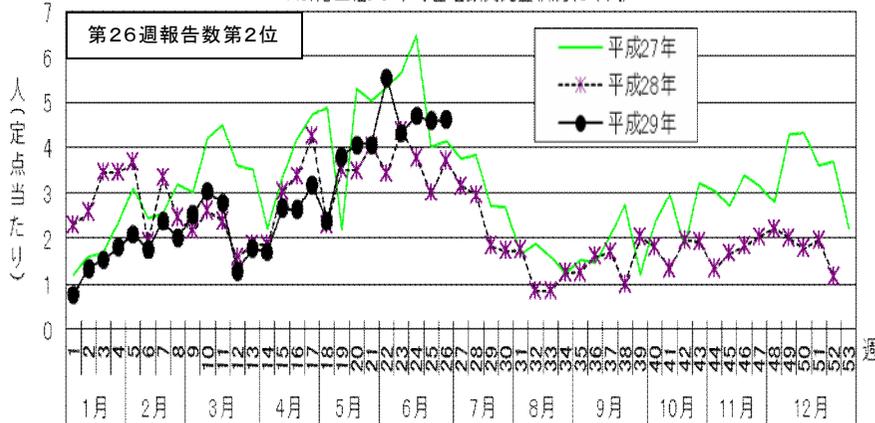
流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は1.89人と前週（1.56人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



咽頭結膜熱が流行しています！

現在、全国的に咽頭結膜熱の患者報告数が非常に多くなっています。川崎市においても、平成29年第21週以降患者数が増加し、過去5年間平均と比較してかなり高いレベルで推移しています。

飛沫や接触により感染するため、お子さんの集団生活やご家庭での予防対策が重要になります。

咽頭結膜熱とは？

●病原体

アデノウイルス

●潜伏期間

5～7日間

●主な症状

突然の発熱（39℃前後）、喉の痛み、結膜充血、目の痛み、目やに等

●治療方法

特異的な治療方法はなく対症療法が中心
※症状が重い場合は、早めに医療機関を受診しましょう。



川崎市における咽頭結膜熱の発生状況

—平成29年（第26週まで）と過去5年間平均の比較—



予防方法

- ◆タオル類やおもちゃの共用は避ける。
- ◆流水や石鹸による手洗いを徹底する。
- ◆プール利用前後にシャワーを浴びる。
- ◆塩素消毒をしていないビニールプールを利用する際にはこまめに水を替える。

